

**SoLジャパン主催  
ロバート・フリッツ氏来日イベントへの  
協賛・協力に関するご提案(Ver.1)**

**2018/9/10  
SoLジャパン**

# 本ご提案の趣旨

- この度、「人間や物事のふるまいを決定づける構造」を明らかにした世界的ベストセラー「The Path of Least Resistance」(未邦訳)の著者ロバート・フリッツ氏が初来日します。
- 『学習する組織』の著者ピーター・センゲは、ロバート・フリッツを師匠とし、学習する組織やシステム思考が進化してきた過程でロバートの明晰な思考と実践が決定的な役割を果たしていると言います。実際に“The Fifth Discipline(邦訳『学習する組織』)”などの著書や論文で展開されているキーコンセプトのいくつかは、ロバートによる構造思考に源流があります。30年以上にわたる研究を通じて構造力学を発展させ、創造プロセスの領域から始めた取り組みは、組織やビジネス、マネジメントの領域へと広がっています。
- このほどSoLジャパン※1(P7でご説明)の主催により、10月2日(火)に100名の参加者規模で、ロバート・フリッツ氏来日イベントを開催します。
- このイベントは、準備・運営をボランティアが担っており、営利を目的としておりません。
- しかしながら、できるだけ多くの方に意義あるプログラムを提供するべく、会場・通訳・備品等に相応の費用が必要なため、参加費をいただくものの、残念ながら参加費収入だけでは赤字になることが想定されています。
- そのため、恐縮ではございますが、本イベントの趣旨にご賛同いただける法人様に協賛をお願いしております。
- 本件に協賛することは、マス媒体での宣伝広告などによる訴求とは異なる効果で、貴社のプレゼンス向上に大きく寄与するものと考えます。
- つきましては、是非とも本件をご検討いただきたくお願い申し上げます。

# ロバート・フリッツ氏来日イベント概要

- ロバート・フリッツ氏来日特別ワークショップ  
「創り出したい未来を創り出すシンプルな方法」  
<http://www.soljapan.org/?p=676/>
- 日時
  - 2018年10月2日(火) 13:00-17:00 (開場 12:30)
- 会場
  - 秋葉原UDXカンファレンス  
<http://udx-s.jp/type350-ab-island/>
- プログラム概要 (予定)
  - [第1部]13:00～  
組織を変えようとする試みがなぜ頓挫するのか？ 一度は成功したかに見えてもなぜ長続きしないのか？ ロバート・フリッツが体系化した構造力学の観点から実践事例を扱いながら、ロバート・フリッツからの解説と受講者主体の演習を通じて具体的に学びます。(質疑応答あり)
  - [第2部]15:00～  
根底の構造が変わらないと組織は変わらない。構造が変われば確実に組織は変わり、新しい成長と発展が可能になる。どうしたら「根底にある構造」をデザインし直せるのか、演習を通して学びます。(質疑応答あり)
- 参加費: 20,000円
- 主催: SoLジャパン

# 協賛について

## ☆協賛の方法

当イベント運営資金として、協賛金の拠出をお願い致します。

(一口5万円、二口以上をお薦めします。四口以上は特別協賛です。)

### － ご提供できるメリット (P6に補足)

- ・ SoLジャパンサイト内で協賛企業として社名(リンク)表示
- ・ 当日配布パンフレットへの協賛企業として社名表示
- ・ 当日配布資料に貴社パンフレットを同封して配布
- ・ 自社WebサイトでのイベントWebサイトへの協賛バナーリンク表示
- ・ ご協賛口数に応じてイベントでのご招待(一口一席)

### － 効果

- ・ 今まで接点のなかった顧客層に好印象を与えられる
- ・ 現状の顧客層に“社会変革や新しい分野を支援している会社”という、貴社の社会貢献への関心や先進的なイメージを訴求できる
- ・ 先進的な社会人教育の専門家、人財育成に熱心な企業へのインパクトがある

→企業の企画部門・人事部門担当者、専門家や社会企業家など先進的な層に届き、これまでと一味違った、貴社のプレゼンス向上に寄与する策となります。

# 協力について

## ☆協力の方法

当イベントに、下記のいずれかの方法でご協力ください。

(ご提供内容は当イベント準備委員会との合意によります。)

①物品の無償提供

②物品の無償貸与

③媒体における当イベント告知への協力

(告知のご協力の場合、概ね5,000件以上のアウトリーチを基準とさせていただきます。)

### － ご提供できるメリット (P6に補足)

- ・ SoLジャパンサイト内で協力企業として社名(リンク)表示
- ・ 当日配布パンフレットへの協力企業として社名表示
- ・ 自社WebサイトでのイベントWebサイトへの協力バナーリンク表示

### － 効果

- ・ 今まで当社に関心のなかった顧客層に好印象を与えられる
- ・ 現状の顧客層に、社会変革や新しい分野を支援しているという、貴社の社会貢献への関心や先進的なイメージを訴求できる
- ・ 先進的な分野の教育の専門家、会社へのインパクトがある

# 協賛・協力へのご提供内容一覧

|                            | 特別協賛(四口以上)  | 協 賛(二口)   | 協賛(一口)・協力  |
|----------------------------|---|---|--|
| SoLジャパン<br>イベントWeb<br>での表示 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・一辺200ピクセルまでのロゴマーク及び社名(貴社指定による略称可)</li> <li>・ご要望により、貴社ロゴマーク及び社名は貴社Webサイトへのリンク可能</li> <li>・協賛、協力社表示の最上部に表示</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・一辺100ピクセルまでのロゴマーク及び社名(貴社指定による略称可)</li> <li>・ご要望により、貴社ロゴマーク及び社名は貴社Webサイトへのリンク可能</li> <li>・但し、Gold Sponsor表示の下部に先着順で表示</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社名(貴社指定による略称可)</li> <li>・ご要望により、貴社ロゴマーク及び社名は貴社Webサイトへのリンク可能</li> <li>・先着順で協賛社表示の下部に表示</li> </ul> |
| 当日配布物<br>への表示              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・一辺200ピクセルまでのロゴマーク及び社名(貴社指定による略称可)</li> <li>・協賛、協力社表示の最上部に表示</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・一辺100ピクセルまでのロゴマーク及び社名(貴社指定による略称可)</li> <li>・但し、Gold Sponsor表示の下部に先着順で表示</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社名(貴社指定による略称可)</li> <li>・先着順で協賛社表示の下部に表示</li> </ul>  |
| パンフレット等<br>配布              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・当日配布資料に貴社パンフレットを2種同封して配布</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・当日配布資料に貴社パンフレットを1種同封して配布</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・当日会場に貴社パンフレット1種を設置配布可(セルフサービス方式)</li> </ul>  |
| イベント参加                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントにご招待(2席分)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントにご招待(1席分)</li> </ul>  | —  |
| 貴社Webサイ<br>トからのリンク         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント紹介ページにリンク可能</li> <li>・ご要望によりバナーをご提供</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント紹介ページにリンク可能</li> <li>・ご要望によりバナーをご提供</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント紹介ページにリンク可能</li> <li>・ご要望によりバナーをご提供</li> </ul>   |

FacebookやTwitterを通じて、本イベントに好意的な方から広く拡散していただけることも副次的なメリットです。

# SoLジャパンとは

<http://www.soljapan.org/>

|             | SoL Japan Profile   |
|-------------|---|
| SoLとは       | <p>Society for Organizational Learning (組織学習協会)</p> <p>SoLは、さまざまな組織、個人、そして世界中に広がる各国のSoLグループから成る学習コミュニティであり、非営利組織として、会員による自主的な運営を行っています。</p> <p>SoLは、マサチューセッツ工科大学の組織学習センター(Center for Organizational Learning、1991年-1997年)の取り組みを継続する形で、1997年4月に設立されました。The Fifth Discipline: the Art and Practice of the Learning Organization(『学習する組織—システム思考で未来を創造する』英治出版、2011年)の著者であるピーター・センゲがその創設者です。</p>   |
| SoLジャパンとは   | <p>SoLジャパンは、SoLのグローバル組織に正式に認定されたSoL地域コミュニティです。</p> <p>SoLジャパンは、複数の学習コミュニティによって構成される、いわば「ネットワークのネットワーク組織」です。具体的な活動および運営は、各学習コミュニティの自治によって行われると同時に、SoLジャパン傘下のコミュニティ間の情報共有と協働を促します。</p>  |
| SoLジャパン実績   | <p>&lt;勉強会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・組織における実践者のための「学習する組織」研究会</li><li>・コンサルタント・コーチのための「コンサルティング・コンバージェンス」</li><li>・システムシンキング・ラボラトリー(STL) 以上、不定期開催</li></ul> <p>&lt;シンポジウム&amp;カンファレンス&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・2008/1 ピーター・センゲ氏来日イベント 野中郁次郎氏との対談 於:国連大学(渋谷)</li><li>・2010/4 アダム・カヘン氏来日イベント 於:日本財団ビル(虎ノ門)</li><li>・2014/11 アダム・カヘン氏来日イベント 於:日本財団ビル(虎ノ門)</li><li>・2016/3 ビル・トルバート氏来日イベント 於:国際文化会館(六本木)</li></ul> |
| SoLジャパン主な理事 | <ul style="list-style-type: none"><li>・小田 理一郎氏 (有)チェンジ・エージェンツ代表取締役(『学習する組織』英治出版、2011年記者)</li><li>・中村 香氏 玉川大学教育学部准教授(生涯学習論、組織学習論、成人教育論、著書多数)</li><li>・Patricia Robinson氏 一橋大学国際企業戦略研究科 准教授 ……他</li></ul>   |

# ロバート・フリッツ(Robert Fritz)氏とは

| Robert Jordan Fritz Profile |  |
|-----------------------------|--|
| 横顔                          | <p>ロバート・フリッツ・インク社の創立者。ピーター・センゲ、チャーリー・キーファー、デイヴィッド・ピーター・ストローと共に、イノベーション・アソシエイツ社の共同創立者でもある。</p> <p>1970年代半ばに創造プロセスを個人の生産性向上のために役立てるトレーニングコースを開始。後に同コースをリードできる人材を育成するようになった。これまでにフリッツのコースを受講した人は、世界中で累計80,000人を超えている。</p> <p>『学習する組織』の著者ピーター・センゲは、ロバート・フリッツを師匠とし、学習する組織やシステム思考が進化してきた過程でロバートの明晰な思考と実践が決定的な役割を果たしていると言う。実際に”The Fifth Discipline(邦訳『学習する組織』)”などの著書や論文で展開されているキーコンセプトのいくつかは、ロバートによる構造思考に源流がある。ロバート・フリッツは30年以上にわたる研究を通じて構造力学を発展させてきた。創造プロセスの領域から始めた取り組みは、組織やビジネス、マネジメントの領域へと広がっている。</p> <p>主な邦訳書には『自意識(アイデンティティ)と創り出す思考』、『最強リーダーシップの法則—正確に原因を知れば、組織は強くなる』がある(いずれも共著)。著書とトレーニングを通じ、人間の行動(個人として、また組織において)に構造が与える影響に関する革命的な考え方を提唱している。</p> <p>フリッツはコンサルタントとしても多くの組織が構造思考を実践できるように支援しており、顧客企業はフォーチュン500企業から多数の中規模企業、政府団体や非営利組織にまで及ぶ。組織が高いパフォーマンスを持続的に発揮するために、いかに自らの構造に革命的に変化を起こしていくか。ロバート・フリッツ・インク社の他の構造コンサルタントと共に、フリッツはその最前線に立っている。</p> |
| 著書                          | <p>邦訳書</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・『自意識(アイデンティティ)と創り出す思考』Evolving刊(原題「IDENTITY」)</li><li>・『最強リーダーシップの法則』徳間書店刊(原題「The managerial moment of truth」)</li></ul> <p>未邦訳</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・『The Path of Least Resistance(最小抵抗の道すじ)』</li><li>・『Creating(創造)』</li><li>・『The Path of Least Resistance for Managers(マネージャーのための最小抵抗の道すじ)』</li></ul>   |